

前回審議会での主な意見およびその対応案について

分類	意見	対応等
1) 素案前半について	新ごみ処理施設の能力に対して、ごみ量がひっ迫してきているのでごみを減らすとされていたが、計画への記載はしないのか。	記載予定である。今回審議いただく以降の章立てである目標値、目標達成するための施策と併せて検討するため、今回の資料には組み込んでいない。
1) 素案前半について (様式提出)	「ごみの発生抑制」の課題について、発生の元をたどる必要がある。物を買う時、選ぶ時に、ポイ捨てにならない物、長く使えるものなどを買ってから使い切るまでの最後を考えるような啓発が必要	一般施策に反映します(ごみの発生抑制に関する消費行動の推進)
	「資源化」の課題について、これも手に入れた(買った)時、リサイクルできたり、自然に戻るもの、自然の材料でできたものだとリサイクルしやすい。(大型家具など)	一般施策に反映します(ごみの発生抑制に関する消費行動の推進)
2) 重点施策(案)について	京都市の事例のように、草津市内のリユース事業者等の情報発信をするのか。いくつぐらいあるのか。	店舗数は不明だが、リユースショップはいくつかある。HP、広報、アプリおよびごみカレンダーなどで発信することで、すでに民間で行われているものを促進したい。
リユース市場の拡大促進	草津市内だけでは修理屋は少ない。守山市や栗東市、野洲市も含めて4市の広範囲で情報は、発信すればいいのでは。	重点施策1-2リユース市場の拡大促進に、「近隣市との連携について」を記載します。
	京都市の事例は電話番号のみであるので、HPへのリンクができればよい。	重点施策1-2リユース市場の拡大促進に「リユースショップの場所やホームページ、連絡先を記載したリユース拠点のマップの作成について」を記載します。
	市民に分かりやすいごみ分別(プラスチックの分別の簡素化)	プラスチックを資源として受け入れていた中国が輸入を禁止したと聞いたが、草津市では収集したプラスチック類はどのように処理を行っているのか。
ごみ分別(プラスチックの分別の簡素化)	資料3の汚れたプラスチック製容器類の分別に関するアンケートで選択肢の②～⑦(排出の際の課題)を選択している場合は、⑨の「分別せずに焼却ごみ類として出している」という回答もしているのか。	アンケートの設問は複数回答であるので、②～⑦(排出の際の課題)を選択している場合であっても、必ずしも⑨の「分別せずに焼却ごみ類として出している」を選択しているとは限らない。実際のごみ処理の現場で、プラスチック製容器類の収集袋の中身を見ると、それほど汚れているものは多くない。
ごみ分別(プラスチックの分別の簡素化)	汚れているプラスチックとは、洗っても汚れが落ちないもののか、軽く洗って汚れが落ちるもののか。	本設問の前に「きれいなプラスチック」という設問が設けてあり、そのうちすべて焼却ごみ類に捨てる人は2.6%という回答結果である。
ごみ分別(プラスチックの分別の簡素化)	アンケート調査よりごみの組成調査の結果を見て、実態を確認の方が良い。組成調査の結果はわかりやすい形で市民の皆さんにみせることが重要であるので、今後の施策の説明方法についてはいろいろ改善が必要である。例えば、ケチャップやマヨネーズはどうするかとか、持ち帰りの容器などは具体的にどうするかなど、事例で示した方がよい。市民に向けてわかりやすい改善がよい。	重点施策2-1市民に分かりやすいごみ分別に「チューブ類等の具体例」を記載する。

分類	意見	対応等
2)重点 施策 (案)に ついて	<p>収集日の統合による効率的な収集（古紙類の収集日の統合）</p> <p>家電製品の箱のような大型の雑紙と段ボールの分別区分は分かれているのか。分別区別が分かりにくいいため、収集日が一緒になると混同して支障をきたすのではないかと。</p> <p>ごみを出す立場からすると月2回になるため利便性は良いので賛成だが、「雑誌・雑紙」をひとくりにするより雑紙は段ボールと一緒にまたは「雑誌・雑紙」を別々にしてはどうか。4区分（新聞広告・雑紙・雑紙・段ボール）にしてはどうか。</p> <p>「雑誌・雑紙分別辞典」ではあらゆるものを記載しているがかえってわかりにくい。よくあるケースを載せてはどうか。重点的に行った方が効果的である。</p> <p>古紙類はかさばるので、分別は重要である</p>	<p>対応等</p> <p>段ボールは断面が波型であり、それ以外は雑紙である。雑紙として他にもビール缶6本入りの外装や靴の空き箱などが該当するが、リサイクル処理する中ではあまり大きな問題にはなっていない。すべて溶解処理してリサイクルしている。</p> <p>適切な分別区分について、リサイクル事業者への引き渡しの方法や市民の排出の実態などから、より市民に負担の少ない方法を検討します。</p> <p>重点施策2-2収集日の統合による効率的な収集に「古紙類の分かりやすい啓発を進めます」と記載し、禁忌品の代表例を中心に市民に分かりやすい啓発をします。</p> <p>重点施策2-2収集日の統合による効率的な収集に「古紙類の分かりやすい啓発を進めます」と記載します。</p>
3)一般 施策 (案)に ついて	<p>一般施策</p> <p>事業系廃棄物について、事業所訪問や3010運動+については縮小・見直しとなり、他にも「新計画には反映しません」と記述があるものについては、施策自体は止めずに継続して、フードバンクなどの施策により整理にしてはどうか。</p> <p>資料5-1、5-2の灰色の箇所「新計画に反映しません」とあるが新計画では実施しないという意味か。例えば、剪定枝の事業のように終わっているものはよいが、事業者向けの指導は一通り実施したとしても、もう一巡必要ではないか。</p> <p>その他</p> <p>今年に入ってレジ袋有料化の成果は出ているのか。</p>	<p>引き続き啓発は行いますが、課題に合わせた啓発手段の見直しを行う。</p> <p>別の事業に統合するなどの工夫を行い、拡大する事業や継続する事業について次期計画の一般施策において検討する。</p> <p>レジ袋の有料化が始まり、ごみ量にまで反映されているかは不明であるが、レジで袋を断る人が多くなったように感じる。一方で、コロナによる影響もあり、例えば、昨年の8月と今年の8月を単純に比較ができないので今後の動向を注視する。</p>